

令和4年4月28日

お客様各位

株式会社トライアングル

## 当社各航路における安全対策について

いつも YOKOSUKA 軍港めぐり・猿島航路をご利用頂きまして誠にありがとうございます。

当社ではお客様に安心・安全・快適にご乗船頂くため、安全管理規程の遵守はもちろんのこと、船舶の安全対策および非常時に備えた船員の各種訓練等を重ねております。

当社ではこれからもお客様が安心、安全にご乗船していただけますよう、努めて参ります。何卒ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

### 1 避難誘導訓練の実施について

法定の訓練・点検を年2回実施しており、その他にも防火・防水・人命救助・津波・テロ・非常操縦訓練も行っています。

※避難誘導訓練においては、直近で2021年12月に「年末年始安全総点検」で実施

### 2 日々の点検整備等の実施について

毎日の運航において、すべての船で以下の点検や整備を行っています。

- ・発航前点検、運航終了時の点検
- ・保守整備（運輸局やメーカー等の指示のもと）
- ・船内巡視の強化

また、定期的に以下の確認等も行っています。

- ・ライフジャケット等救命器具の確認、点検及び整備
- ・避難経路の再確認
- ・従業員の対応手順の再確認
- ・安全と事故を未然に防ぐためのミーティング

### 3 ライフジャケット等の救命用具の用意について

当社の所有するすべての船舶は、ライフジャケット・救命浮器・救命いかだを合計で法定数（定員数）搭載しています。

※詳細につきましては【参考】をご覧ください

#### 4 軍港めぐりや猿島航路などでのライフジャケットの着用について

当社各航路では、ライフジャケットの着用が必須ではありません。

※ただし、「安全管理規程」の作業基準により、「気象・海象の悪化等」「事故・船舶の故障等」「船長が必要と判断した場合」に、旅客に対して救命胴衣の着用を指示することになっています。

#### 5 運航判断について

日常的な判断は船長及び運航管理者（または運航管理補助者）が行い、安全統括責任者が確認しています（この判断に経営トップが関わることはございません）。

#### 6 安全管理規程について

当社でも法定の「安全管理規程」を設けています。

また、以下の「運航基準」も国土交通省関東運輸局から認可されています。

航路	風速		波高	視程
	NW～NE	13m/s以上		
三笠～猿島	その他	18m/s以上	1. 5 m以上	5 0 0 m以下
	NW～NE	12m/s以上		
猿島～観音崎 猿島～八景島	その他	15m/s以上	1 m以上	1. 0 0 0 m以下
	20m/s以上			
軍港めぐり	20m/s以上		1 m以上	5 0 0 m以下
三笠～第二海堡	10m/s以上		1 m以上	2, 0 0 0 m以下
上記以外の横須賀港	15m/s以上		1. 5 m以上	1, 5 0 0 m以下
浦賀渡船	10m/s以上		1 m以上	3 0 0 m以下
その他東京湾内	12m/s以上		1 m以上	1, 5 0 0 m以下

※上記の基準を下回っていても、気象・海象によって欠航の判断をする場合があります。

#### 7 船客賠償保険の加入について

当社所有の全船（「浦賀の渡し」を含む）で日本旅客船協会の「船客傷害賠償責任保険」に加入しています。船客賠償は1名あたり6,000万円となっています。

## 8 乗船名簿のご記入について

当社各航路では乗船名簿の記入をお願いしておりません。それは、「船員法」により、

①当社の航路は陸より、より近い「湖川港内」「平水区域」を航行する航路であること。

②所要時間が2時間以内であること。

と定められているためです。

※船員法第18条、船員法施行規則第12条

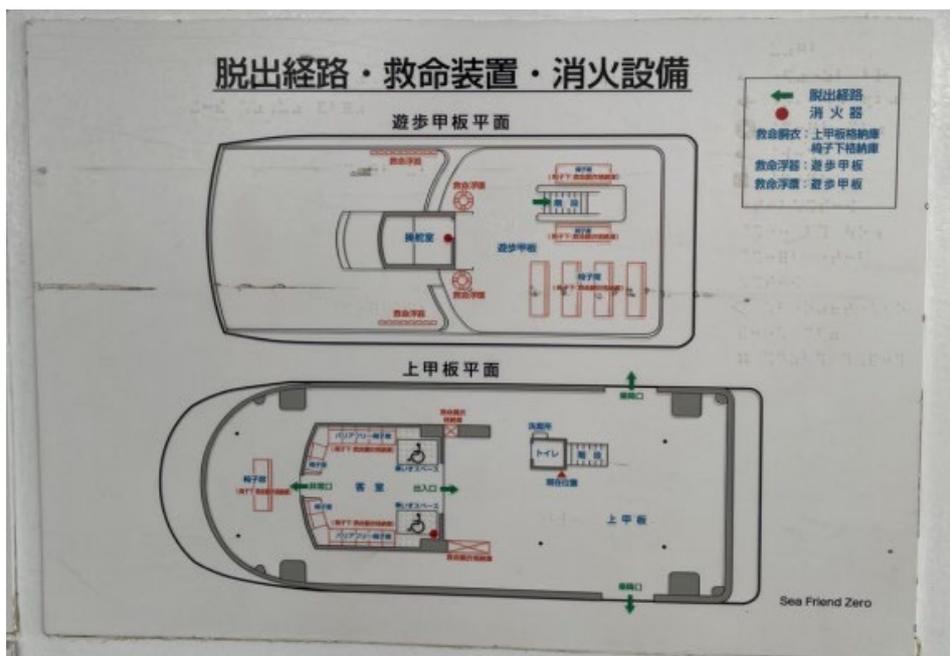
「海難等の際の救助や補償を円滑に進めるため、平水区域を航行区域とする船舶や、国内各港間のみを航海し出港から次の入港までが2時間以内である船舶等を除き、旅客名簿を船内又は事務所に備え置く義務があります。」

当社では引き続き、航行の安全を第一に考え、厳密な安全管理のもと運航して参ります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

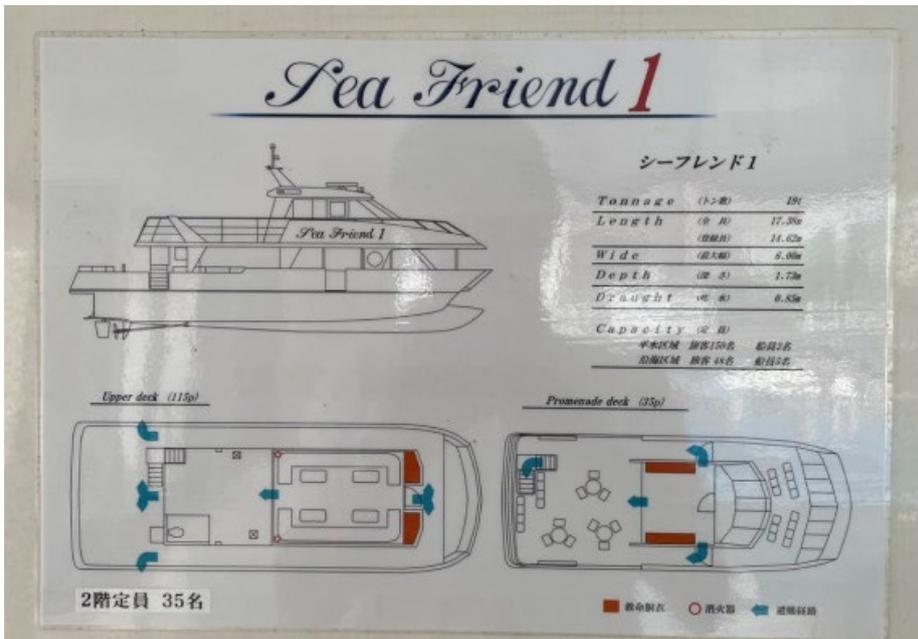
以上

【参考】船内に提示されている表示等

### ● 「Sea Friend ZERO」 脱出経路・救命措置・消火設備位置図



● 「Sea Friend 1」 脱出経路・救命措置・消火設備位置図



● 「Sea Friend 7」 脱出心得

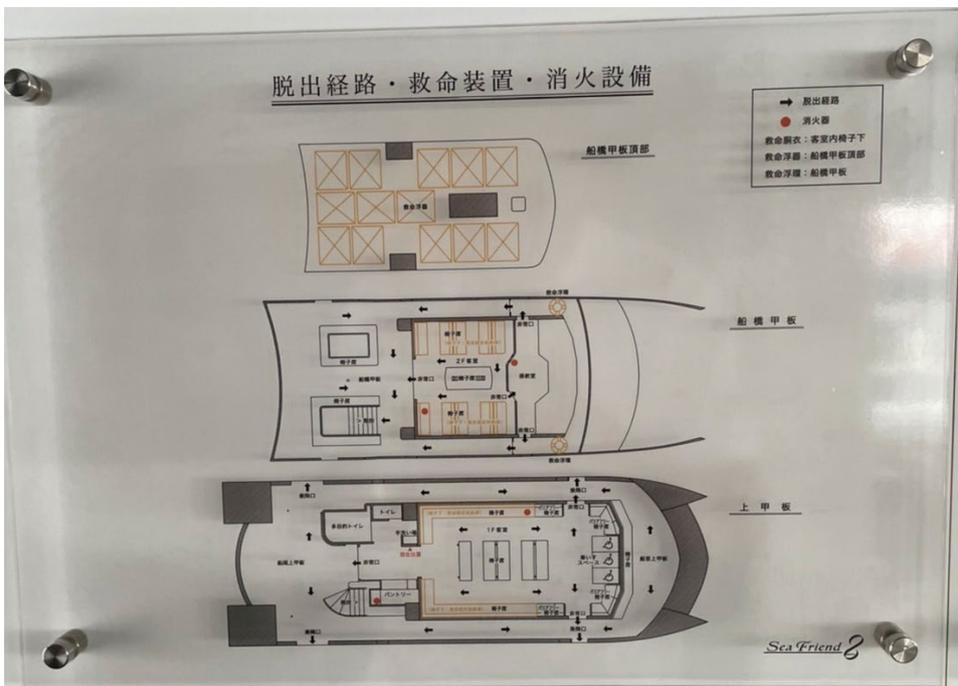
総トン数	7	7	トン	建造造船所	形原造船株式会社
------	---	---	----	-------	----------

### 非常時乗船者心得

(非常信号) 汽笛		(災害発生時の伝達法)	(退 避)
防火部署	----- (長声5回)	火災又は浸水により危険な事態が発生した場合直ちに「どこ、どこで火災又はどこで浸水」と船員連呼して待ったり放送で行います。待って西面により非常信号でお知らせすることになっています。	災害の状況によっては安全な場所へ避難する必要が生じますので係員が適宜誘導しますから静粛に行動して下さい。
防水部署	----- (長声2回)		
旅客の招集	●●●●● (短声7回 長声1回)		(退船時の招集) 退船を必要とする場合は旅客招集の合図を信号でお知らせしますから係員の指示に従って準備体制を整えて下さい。
退船部署	----- (長声1回)	(救命胴衣の装着) 災害発生と同時に船員は直ちに非常配置につきますから係員の指示に従って救命胴衣を机前座から取り出して前巻準備をして下さい。 機前座は係員が管理いたしますが各客室内の壁に機前座が掲示してあります。	(非常口) 各客室内には非常口が取り付けられておりますがその設置箇所は機前座に示した反対側となっております。
号 鐘	船内放送及び伝令		
●●●●●	○ ○ 火災 旅客退船集合		
乱 打	○ ○ 浸水 総員退船		

● 「Sea Friend 8」 脱出経路・救命措置・消火設備位置図



● 「Sea Friend ZERO」 搭載の救命いかだ

survitecgroup

### 膨脹式救命浮器 TRF-6R型 6人用

膨脹式救命浮器TRF-6R型は、小型船舶安全規則49条に基づく諸条件に適合し、自動膨脹・自動浮揚するように設計されていますので、沿海、限定沿海、平水航行区域とする小型船舶の救命設備として正式に預付けをして船舶検査に適合できます。また、落水者に対しても、投げ込んで水上で自動膨脹させ水難救助に威力を発揮します。

膨脹状態

品名	小型船舶用救命浮器 (膨脹式)
型番	TRF-6R型
タイプ	縦型 / 水平型
型式承認番号	第4882号
定員	6人
保管寸法 (幅×長さ×高さ)	420×220×130mm
質量	2,900kg
膨脹所要時間	約10秒
総浮力	47kg
気室材料	(片面) ポリウレタン引布 (基布) 420g/㎡
充気ガスの種類	炭酸ガス 55g

FRPコンテナ  
サイズ42x22x12cm

**特長**

- 1 沿海、限定沿海、平水を航行区域とする全ての小型船舶の救命設備として正式に搭載可能です。(船検適応)
- 2 膨脹式のため、従来の円筒形浮器と比べて格段にコンパクトで軽量なので狭い船上の大幅な省スペースができます。
- 3 プレジャーボートに搭載しても外觀を損なわないスマートなデザインのFRPコンテナです。
- 4 主材料はナイロン基布に熱可塑性ポリウレタンをコーティングしたポリウレタンコーティング布を採用し従来のゴム引布製と比較して抜群的耐候性、耐摩耗性を有しています。
- 5 浮器はコンテナごと水没すると自動膨脹装置により自動で膨脹し浮揚します。コンテナから取り出し投下しても自動膨脹後浮揚し、さらに手動、または、補助送気管から口で空気を入っても膨脹が可能です。
- 6 浮器は2気室で浮力は47kgあり、定員6人を水中で支える事ができます。
- 7 浮器本体は、遠方からも見つけやすいオレンジ色で夜間でも発見しやすい再帰反射材付きです。
- 8 使用後も、ポンベとカット装置のマガジンを交換するだけで再使用が可能です。
- 9 コンテナのタイプは、縦型と水平型からお選び下さい。

Sea Friend 7 に搭載のライフジャケット

